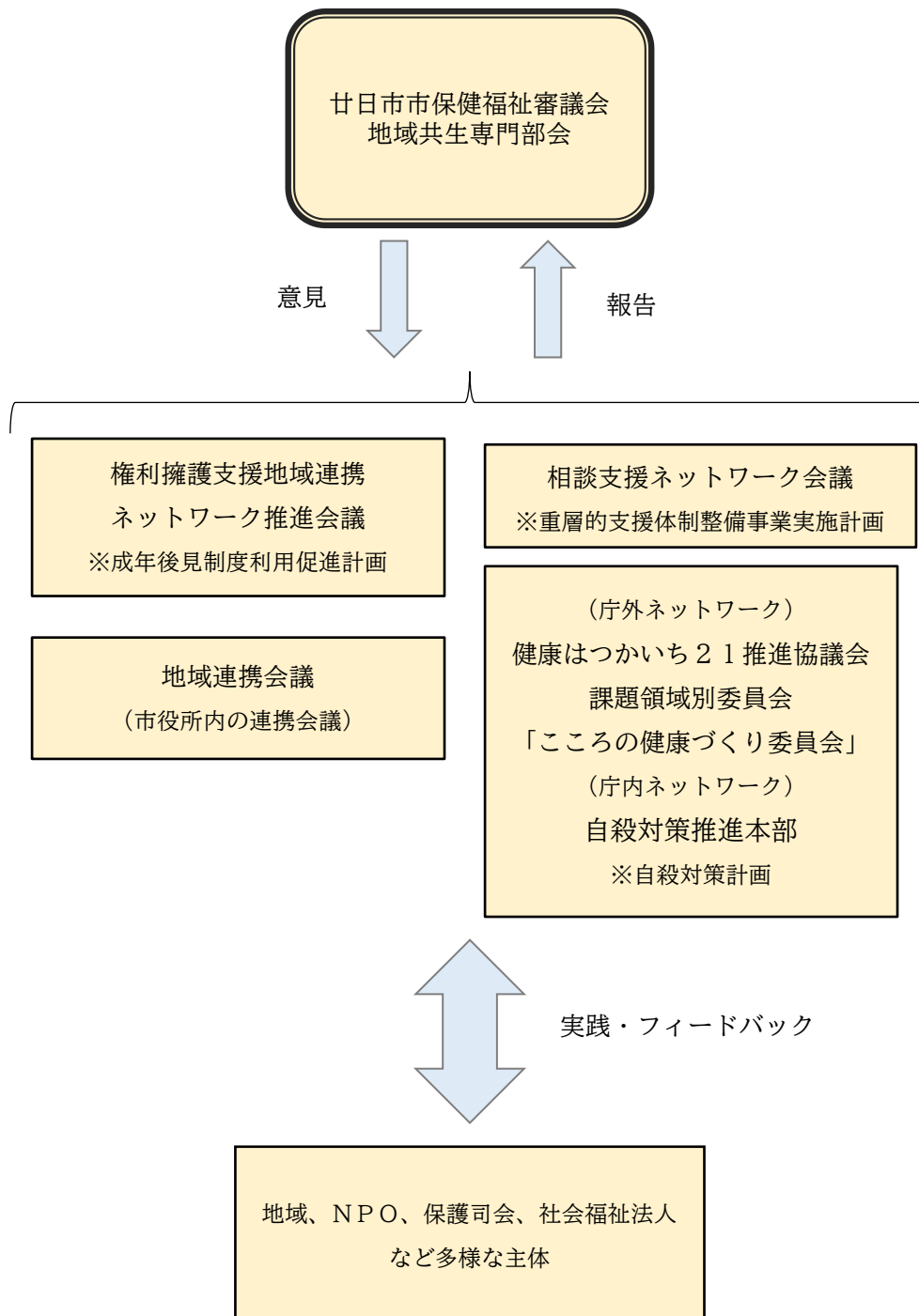


## 第9章 計画の推進

### 【1】 推進体制

市役所内及び廿日市市社会福祉協議会ほか関係団体が参加する各会議において、本計画の進捗状況を確認し、廿日市市保健福祉審議会地域共生専門部会で進捗報告、意見を伺いながら、評価、改善を行います。



## 【2】 計画の進行管理

「基本目標」や「行動目標」の進捗状況や達成度合いについて、目指す姿にどれだけ近づけたかは、第3期計画において設定した「評価の視点」「成果指標」を引き継ぎます。

また「はつかいち未来ビジョン2035前期基本計画（廿日市市総合計画）」において、施策評価を行うこととしており、施策の一つである「つながりで支える地域福祉」の評価と兼ねることとし、廿日市市まちづくり市民アンケート調査の数値を参考に検証します。

### 基本目標1 つながりと支え合いの意識づくり

- ・ 評価の視点1：社会的役割や、有用感、生きがいが増したか
- ・ 評価の視点5：新たな地域福祉活動のプログラムが広がったか

### 基本目標2 つながりと支え合いを育む仕組みづくり

- ・ 評価の視点2：生活空間（外出先、頻度など）の広がりがみられたか
- ・ 評価の視点4：幅広い世代や新たなメンバーなど、地域福祉活動への参加に対する広がりがみられたか

### 基本目標3 多様な選択肢を生み出し、個々に寄り添った仕組みづくり

- ・ 評価の視点3：人とのつながり、支え合いや助け合いの広がりがみられたか
- ・ 評価の視点6：新たな活動主体（団体）のかかわりが増えたか

### 基本目標4 安全で安心して暮らせるまちづくり

- ・ 評価の視点7：地域で暮らす安心感や自信、気持ちの高まりがみられたか

成果指標	現況値 (令和7年度)	目標値 (令和12年度)
普段の生活の中で地域の助け合いができていると思う市民の割合（第3期計画から継承）	42.6%	50.0%
日常生活の中で、困りごとを相談できる相手がいると答えた市民の割合（第3期計画から継承）	80.9%	90.0%
困ったときに相談できる相談支援機関を知っている市民の割合 (はつかいち未来ビジョン2035前期基本計画 (廿日市市総合計画) 施策2-1「つながりで支える地域福祉」の指標)	56.2%	60.0%